

件名	第4回 茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会		
日時	令和4年9月18日(日) 12:30～18:05	場所	茨木市役所 南館8階 中会議室
出席者	【事業者候補者選定委員】 関西大学 環境都市工学部 教授：北詰 恵一 委員長 武庫川女子大学 建築学部 教授：鳥巢 茂樹 副委員長 関西外国語大学 英語キャリア学部 教授：浦嶋 敏之 委員 立命館大学 政策科学部 教授：桜井 政成 委員 梅花女子大学 食文化学部 教授：西村 智子 委員		
	【事務局】 ■茨木市 中坂学務課長、川上学務課長代理兼保健給食係長、 森本学務課主幹兼中学校給食推進チーム長、西村、竹野 ■日建設計総合研究所(PFI 事業アドバイザー、以下「NSRI」)： 石原上席研究員、木内研究員		

【資料】

- ・第4回 茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会 議事次第
- ・資料① 仮評価結果集計表(非公開)
- ・資料② 事業者事前質疑回答(非公開)
- ・資料③ 最終評価集計表(※事業者ヒアリング後に配布)(非公開)
- ・資料④ 審査講評(案)(非公開)
- ・ヒアリング用評価シート(非公開)

【第4回 議事録】

開会、教育長挨拶	
事務局	～開会の挨拶～
岡田教育長	～挨拶～ (教育長退席)
北詰委員長	では、第4回茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会の議事に入る。 次第「2. 仮評価結果の確認について」、事務局より説明願う。
仮評価結果の確認について	
事務局	～資料1 仮評価結果集計表の説明～
北詰委員長	これに関する質問等はあるか。
全員	なし。
北詰委員長	事業者ヒアリングの前に、何点か整理をしておきたい。 一つ目は、事前質問の回答について、引き続き疑問が残る、思うような回答でなかったなど、意見や感想があれば、この場で情報共有しておきたい。 二つ目は、ヒアリング後の質問時間を効率良くしたいので、我々の質問はできるだけコンパクトにし、必ず質問をしておきたいというものについて共有しておきたい。 実際の質疑応答の際には、まず一人一問ずつ回し、その後は順次挙手により質問するという形にする。時間によって、ある委員が一問も質問できなかったということは避けたいと思う。
北詰委員長	ではまず一点目の応募者の回答について、これは気をつけておいた方が良い

	など、何かあれば共有していただきたい。
	(事業の企業ノウハウが含まれるため非公開)
～休憩～	
事業者ヒアリング	
北詰委員長	それでは、次第「3.最終審査について、答申」を事務局より説明願う。
事務局	～最終審査の説明～ ・プレゼンテーション 20 分 ・質疑応答 30 分
C19 グループ	～入室、プレゼンテーション～
	(事業の企業ノウハウが含まれるため非公開)
C19 グループ	～退室～
C22 グループ	～入室、プレゼンテーション～
	(事業の企業ノウハウが含まれるため非公開)
C22 グループ	～退室～
～休憩～	
最終審査について、答申	
北詰委員長	今のヒアリングを踏まえ、評価を変更される場合は、「ヒアリング用評価シート」を事務局に提出願う。コピー後に返却される。
北詰委員長	では、最終段階に行きたいのだが、まずは段取りを確認していく。 それぞれのグループに対して、各委員の評価が B と C や、A と B などの一段階の違いについては、各委員の判断だと思うが、なにがしかの形で大きく差が出ているものについては、そこを重点的に伺っていきたいのが一つと、配点が大きいところは確認をしておきたい。 それから、ここまでの議論を審査講評というものへ書き込むことになる。手元の資料④審査講評(案)の 7 ページで、事業計画を始めとした大項目ごとに表があり、中項目ごとに講評を書くということになっている。我々の議論はここに反映される。進め方として、中項目ごとにこれで良いかという確認をしながら、もし変更があるようであれば、申し出ていただきたい。この審査講評に情報となるような、具体的で顕著な意見、こういうところが良かった、高い評価につながった、逆にこういうところは評価しなかった、低い評価としたということについてコメントをいただきたい。 ABCDE の評価を変更されるのであれば、申し出ていただいて、皆で確認をしていきたい。 もう一つ、審査講評の 9 ページに総評というものがある。これは別に時間を設けて議論をするが、ここでも何か挙げていければと思う。 全体の段取りはこのような形となるが、よろしいか。
全員	異議なし。
北詰委員長	では順に見ていくとする。
	(事業の企業ノウハウが含まれるため非公開)
北詰委員長	それでは、確定させていただく。 事務局から価格評価を含めたものをお願いする。
事務局	集計結果について、報告する。 性能評価点については、C19 は 483.5 点、C22 は 527.0 点。

	価格評価点については、C19は300点、C22は289点。 総得点は、C19は783.5点、C22は816.0点となった。
北詰委員長	議論した2グループの評価結果により、C22グループを最優秀提案者として決定してよろしいか。
全員	異議なし。
北詰委員長	それでは、本委員会として、この内容で市に答申を行う。
審査講評(案)について	
北詰委員長	続いて、事務局より次第「4.審査講評(案)について」、事務局より説明願う。
事務局	～資料3 最終評価集計表・資料4 審査講評(案)の説明～
北詰委員長	それでは、総評について、決定したC22グループに対する要望を、とりわけ書くべきことがあれば指摘いただきたい。
	(事業の企業ノウハウが含まれるため非公開)
北詰委員長	それでは事務局に進行を返す。
今後のスケジュール、閉会	
事務局	～今後のスケジュールについて説明～ ・市内部決裁を経て、9月21日頃に代表企業へ通知予定 ・9月末を目途に審査講評を市のホームページで公表予定
北詰委員長	～選定委員会終了の挨拶～
事務局	それでは、茨木市中学校給食センター整備運営事業者候補者選定委員会を閉会する。

以上